



2021年2月25日

山形県上山市へ健康機器を贈呈
～コロナに打ち勝つ市民の身体づくりの実現へ貢献～

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、「上山型温泉クアオルト活用包括的連携に関する協定」を締結している山形県上山市（以下「上山市」）へ健康機器を贈呈し、2月22日に上山市役所において、目録贈呈式を行いました。

1. 「上山型温泉クアオルト活用包括的連携に関する協定」概要

当社は、お客さまを健康にする「健康応援企業」への変革を目指し、健康経営に積極的に取り組んでいます。その取組みの一環として、同年よりクアオルト体験プログラム^{※1}を導入し、社員の健康維持・増進に活用しています。

また、当社社員、お客さまおよび関係者の健康づくりの推進に向けた取組みを通じて、当社の健康経営と地域活性化を図ることを目的として、2017年6月24日に上山市と協定を締結しました。

※1 クアオルトはドイツ語で「健康保養地・療養地」を意味します。自然環境を活用した健康増進に向けたウォーキングの実施や、地場産食材を使った栄養バランスの優れた料理の提供、温泉入浴の組み合わせによる健康増進プログラムのことです。

2. 寄付の経緯、内容

今般当社は、上山市の「かみのやま健康ポイント」事業^{※2}に賛同し、上山市民の健康増進や健康寿命の延伸に貢献することを目的として、健康機器を贈呈するに至りました。

※2 2020年10月1日より、上山市の健康課題解決に向け、市医師会と連携し、ICTを活用した健康づくりの効果の見える化、さらに健康行動に応じたインセンティブを付与することで楽しみながら健康づくりを継続できる仕組みを構築し、健康寿命延伸、QOL（生活の質）の維持・向上に繋げることを目的とした取組みです。

3. 今後の取組み

当社は今後も、上山市をはじめ、全国7市2町で組織する「日本クアオルト協議会」加盟自治体と連携し、健康応援企業として社員とその家族の健康維持・増進および地域活性に貢献してまいります。



横戸上山市長コメント

現在進める上山らしい健康づくりを後押しするもので、心から感謝を申し上げます。いただいた機器を大切に活用し、市民みんなの笑顔と元気づくりにつなげるとともに、御社の健康経営の体現に向け、さらに連携を深めながら、“心と体がうるおうまち”を力強く進めていく。

（写真：贈呈式の様子、左：横戸上山市長、右：当社野田東北統括部長）

以上